

わ  
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年10月21日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	篠原西一谷川 通常砂防事業	地区名	船井郡京丹波町篠原		
概算事業費	3.5億円	事業期間	7ヶ年		
事業概要	砂防えん堤 2基				
目指すべき環境像	篠原西一谷川は、一級河川上和知川に流入する土石流危険渓流である。砂防えん堤を整備し、土砂移動を軽減することにより、集落及び上和知川への土砂流出を防ぎ、生物の成育環境の保全と長期的に見た景観の保全を目指す。また、地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	渓流が荒廃しており、渓床には不安定な土砂が堆積しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う渓流周辺の地形の保全を図る必要がある。	砂防えん堤を設置することにより、渓流の土砂移動の抑止及び現地地形と植生の早期回復を図る。 対策工については、できるだけ渓流保全工を実施せず、地形の改変を少なくする計画を検討する。		
	地形・地質			○	4
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種			○	3
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	渓流直下の狭小な区域に人家が密集しているため、事業実施の際に発生が予測される工事車両の通行に伴う騒音・振動を抑制する必要がある。 また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。 粉じん対策として、散水・防塵シートを使用する等、日常生活に支障が無いよう配慮する。 また、建設発生材は、当該工事や近傍の公共・民間工事と調整し、再利用に努める。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当渓流は、山裾の集落から下流に広がる農地を流れており、豊かな自然景観に恵まれるとともに、貴重な里山景観を残していることから、植生等の景観の改変を最小にとどめる必要がある。 また、篠原公民館は、町の地域防災計画において避難場所に指定されている。	材料の選定にあたり、現地採取材料の使用や在来種による掘削の法面の復旧を図る等、地域の自然景観と調和したものとす。	3	
	里山の保全			○	4
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					